

令和5年度 北九州観光コンベンション協会 事業計画

【ビジョン】

「都市ブランド力の向上、新たな魅力創造及びシビックプライドの醸成に貢献し、国内外から選ばれるまちを目指す」

【ミッション】

- 国内外の観光客誘致・滞在化を促進する観光事業の推進
- 西日本屈指のMICE開催拠点＝小倉駅新幹線口国際コンベンションゾーンの一体的な運営によるグローバル志向のMICEを誘致・支援

【令和5年度の主な事業目標(指定管理計画(R元～R5年度)の5年度目標)】

- 来場者数(展示場本館・新館、会議場の3施設合計) ⇒ 96万人以上
- コンベンション誘致件数(九州規模以上) ⇒ 250件以上
- 施設稼働率 ⇒ 展示場本館 70%以上、新館 80%以上、会議場 90%以上

【目標達成に向けた令和5年度の事業活動】

1 主催展示会事業の強化

(1) オンラインの継続活用とフェイス・トゥ・フェイスへの回帰

- ・【告知】=オンライン【商談】=フェイス・トゥ・フェイスを重視した展示会を実施。
- ・主催展示会事業「課題解決EXPO」「西日本陶磁器フェスタ」を引き続き実施し、地域企業の課題解決や地域経済の活性化を図る。
- ・令和4年に実施した小規模展示会(DX関連)について「物流」分野及び我が国の社会課題である「子ども・子育て」分野への展開を検討する。

(2) 展示会開発に向けた開催業務の効率化と人材育成の促進

- ・展示会運営業務の標準化及び外部委託化を進めるとともに、国際標準規格や開催手法等を学ぶためのプログラムへの参加を通じ、展示会業務に精通した人材の育成を図る。

《令和5年度開催の主催展示会事業》

事業名	対象業界	期間	目標数
課題解決EXPO	西日本製造技術イノベーション2023	7/5-7	60社
	西日本DX推進フェア2023		60社
	エコテクノ2023		100社
	ベンチャー・メッセ2023		30社
	中小企業テクノフェアin九州2023		55社
	第49回ふくおか産業技術振興展		九州地域の中小企業
第45回西日本陶磁器フェスタ	西日本地域の陶磁器展示会	9/14-19	4.0万人 200社
合計	7事業	5.5万人	535社

2 MICE誘致の強化

(1) グローバルレベルでのフェイス・トゥ・フェイス・マーケティング

- ・誘致営業の効果を最大化するため、キーパーソンや学協会、PCO等に対してフェイス・トゥ・フェイスによるマーケティングを行う。
- ・「北九州市MICE倶楽部首都圏交流会」を開催し、首都圏のキーパーソンや学協会関係者とのネットワーク拡大を図る。
- ・オランダ・アムステルダムに本部を置くICCA(国際会議協会)との連携を継続し、グローバルレベルでの情報収集を行うとともに、JNTO(日本政府観光局)の各種商談会を活用し、国際会議誘致件数の増加を図る。
- ・市内スポーツ団体・体育施設と連携し、スポーツ大会やその前後に行われる選手・指導者育成会・研修会の関連会議や講演会等のスポーツイベント誘致を強化する。

(2) ステークホルダーとの連携

- ・協定を締結する市内4大学(九工大、九歯大、北九大、産医大)と連携し、ローカルホストによる会議開催件数の増加を図る。
- ・「北九州市グローバルMICE推進協議会」(ホテル、旅行・交通会社、行政等で組織)を通じ、「チーム北九州」として誘致セールス等に取り組む。

(3) 情報発信の強化・PRツールの作成・情報集計のデジタル化

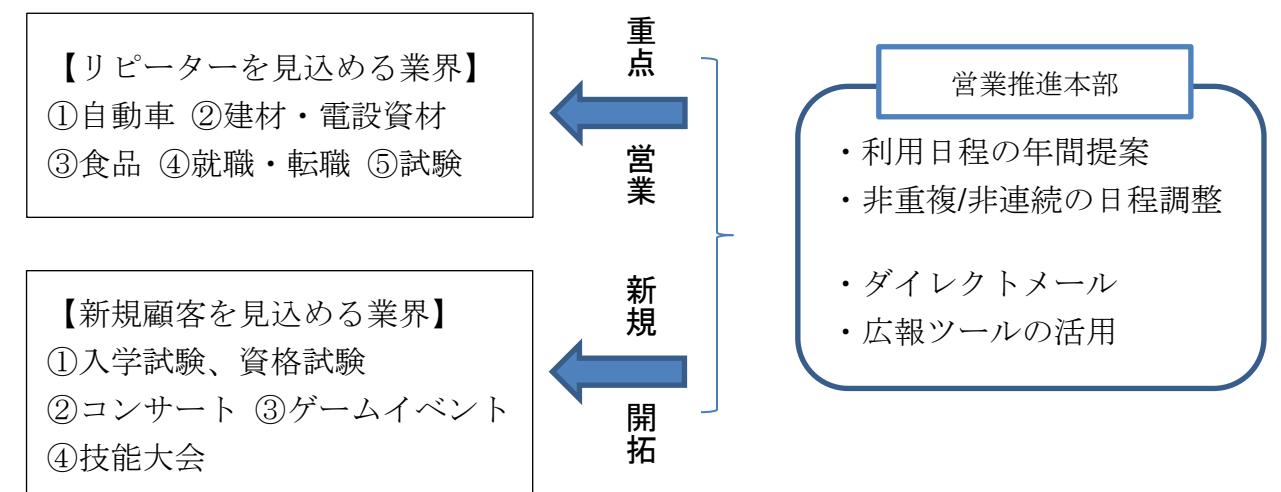
- ・SNSを通じ、日本語・英語で会議開催支援情報を発信する。
- ・北九州市のSDGs施策をPRするため、ノベルティを作成し誘致の足掛かりとする。
- ・市内イベント情報の集計作業をデジタル化し、作業効率を向上させる。

(4) MICE開催支援制度(助成金・ユニークベニューの提案等)の継続

- ・北九州市MICE開催助成金を効果的に活用し、誘致件数の増加を図る。
- ・助成金支援を利用できないインセンティブ旅行関係者に対して、アトラクション等を代替提供することで、インセンティブ旅行の誘致促進を図る。
- ・アフターコンベンション・メニューとして近代産業遺産やその他観光資源を積極的に紹介し、参加者の満足度を高めるとともに北九州市のイメージ向上を図る。
- ・下関地区と連携し、関門地域全体で参加者本位のエクスカーションコースを提供する。
- ・SDGsについて学び体験できるエクスカーションコースの調査造成や、小倉城、ミクニワールドスタジアム等での新たな演出を交えたユニークベニューの開発に取り組む。

3 貸館利用者の誘致・営業の強化

(1) 既存利用者(リピーター)の利用再開と新規利用者の開拓に向けた営業活動の強化

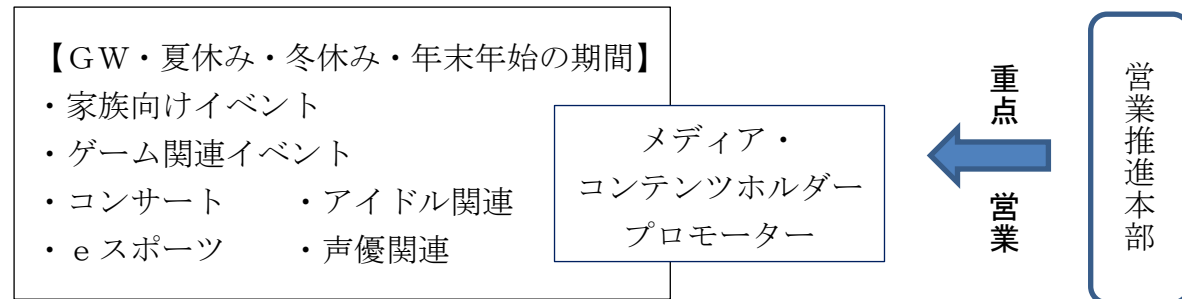


(2) 新しい会場利用価値の創造へ向けた取り組み

- ・利用者本位の施設環境を確保すべく、光回線の新設・増強や Wi-Fi 回線の強化等による通信環境の充実と、コンサート等の大型エンタメイベントの開催に向けた施設機能（非常口誘導灯、ケーブル配線開口工事等）の改善に取り組む。

(3) 稼働率向上へ向けた取り組み

- ・ゴールデンウィークやお盆、年末年始等の長期休暇期間に集客力のあるイベントを積極的に誘致し稼働率の向上と来場者数の増加に努める。



4 広報・宣伝、地域連携

(1) 広報・宣伝

- ・協会ホームページを、ユーザーが使いやすく、情報を見つけやすいものに改修することで、ターゲット層に対するアピール力やマーケティング効果の向上を図る。
- ・令和5年1月にリニューアルしたJR小倉駅JAMビジョンや、ペDESTリアンデッキ設置のデジタルサイネージ等を積極的に活用し、施設や催事に関する情報を発信することで、視覚的に訴求力の高い広告効果を創出し、顧客の認知度を高める。

(2) 地域連携（小倉駅新幹線口振興連絡会等との連携）

- ・小倉駅周辺の魅力アップとにぎわいづくりのため、小倉駅新幹線口地区振興連絡会と連携して近隣の関係団体参加型の清掃活動や同会との意見交換会等を実施する。
- ・魚町商店街に当協会主催事業や誘致した学会・大会等の大型懸垂幕を掲出し、参加者による小倉駅南北間の往来を活性化させる。



リニューアルした JAM ビジョン

5 お客様満足度の向上

(1) 快適なコミュニケーションの場の提供

- ・イベント会場における土産品販売及び観光案内エリアの設置等を通じ、利用者同士が交流できる場を提供する。

(2) 災害による被害の甚大化に対応する防災体制の構築

- ・常時、施設維持管理に細心の注意を払い、不測の事態が発生した際には、職員が速やかに利用者の安全を確保できるよう、適切な防災体制を構築する。

(3) 指定管理施設の設備改修等（市への要望）

- ・会場カメラ・モニター、電光掲示板、場内美術・照明バトン等の更新（展示場新館）
- ・LED等の高効率設備の導入や機器の更新による省エネ化及び建物の壁面改修等の美観回復工事（国際会議場）

(4) 展示場本館の設備更新等

- ・雨漏り防止の抜本的な対策を施すため、屋根構造の大型改修を行う。
- ・大規模改修工事に向けた工事実施計画の立案に着手する。

6 観光客の誘致及び滞在化促進

(1) 観光客誘致事業・滞在化促進事業

- ・関係団体と連携し観光客に役立つコンテンツ情報をPRするとともに、令和5年12月に開催される「北九州国際映画祭」をはじめとした様々なイベントへ、県内外から多くの観光客が見込まれることから、より一層の誘致と滞在化促進に努める。
- ・東アジア（台湾・韓国・中国）の旅行社を中心にセールス活動を継続し、インバウンド誘致を促進する。

(2) 修学旅行誘致事業

- ・民間事業者・行政と協力し、SDGsに取り組む施設を周遊するメニューを旅行代理店等に提案することで、修学旅行誘致件数の増加を図る。

(3) 助成事業

- ・本市に宿泊を伴う修学旅行や旅行商品、また北九州市を代表する祭事に対して助成することで、観光客の増加を図る。

7 観光都市北九州の広報宣伝と観光情報の収集・調査

- ・北九州観光情報サイト「ぐるリッチ！北Q州」を活用し本市の魅力を発信するとともに F1 層や Z 世代に対して、SNS を中心とした観光デジタルプロモーションを行う。
- ・北九州への観光に興味を持つターゲット層へのリーチ精度向上や実訪問者数の最大化を目指し、検索広告等について研究を進め、広告運用の最適化を図る。

8 観光に関する人材の育成及び啓発

- ・新たな旅行需要の取り込みに向け、観光客へのおもてなし活動を行う事業者にスポットを当て SNS で紹介し、市民の観光ホスピタリティについて啓発を図る。
- ・観光ボランティア制度（104名【令和4年4月現在】）を運営するとともに、新たな観光ボランティアの担い手の養成や若年層の観光知識習得を目的に北九州観光市民大学を開講し、市民の観光マインドを醸成する。

9 観光に関する施設の管理・運営

(1) 観光案内所等の運営

- ・「北九州市観光案内所運営協議会」を通じ、市内4カ所において観光案内所を運営し、国内外からの観光客に対しニーズに合わせた観光情報を提供する。

(2) 産業観光と夜型観光の推進

- ・北九州市、北九州商工会議所と当協会が組織した「北九州産業観光センター」を通じ、世界遺産や工場夜景を核とした「ものづくり観光」のブランド化に取り組み、産業観光と夜型観光を推進する。

(3) 土産品・特産品売店や小倉駅イベント広場等の運営

- ・「北九州おみやげ館」「TOTOMIミュージアム」での土産品・特産品売店の運営や、小倉駅イベント広場での市・JR主催事業の実施等により、まちのにぎわいを創出する。

10 特産品の紹介・宣伝

- ・市内外で開催されるイベントや観光物産展へ参加し、北九州市の特産品・土産品を実際に手に取り、購入できる機会を数多く提供する。



北九州市総合観光案内所（小倉駅）